

第6回 コンクリート技術交流会 プログラム

開催日時：平成28年11月18日(金) 10:00~18:00 (9:30 受付開始)
 開催場所：江戸東京博物館 1F 会議室
 主催：日本コンクリート技術株式会社
 後援：JPCF(日本コンクリート製品フォーラム)
 GNN(元気な生コンネットワーク)

17:10~18:00 特別講演
 西川和廣氏(一般財団法人土木研究センター 理事長)
 「論理的思考が誤診を防ぐ ―ドボク塾 両国編―」
 18:00~ 閉会の辞 篠田佳男(日本コンクリート技術(株)代表取締役)
 18:30~ 懇親会
 第一ホテル両国 25階 スカイバンケット『アジュール』

10:00~ 開会の挨拶 長瀧重義(東京工業大学名誉教授)

10:00~12:00 パネルディスカッション
 コーディネーター：篠田佳男(日本コンクリート技術)
 テーマ：「コンクリート製品と生コンクリートの課題・取組み・将来」

【製品】①新田裕之(東栄コンクリート工業)
 「プレキャストコンクリートと生コンクリートの融合技術について」
 ②星田典行(ミルコン)
 「プレキャスト化に関する課題と提案」
 ③高田浩平(美建工業)
 「PCa 業界と生コン業界の交流 ~お互いの長所を生かした集約化~」

【生コン】①宮本充也(長岡生コンクリート)
 「生コン屋のゴミが都市鉱山に 残コン・戻りコン・スラッジの
 再利用最先端」
 ②廣藤義和(東伸コーポレーション)
 「IoT を活用最多品質確保に向けて ~安定供給と品質確保の両立~」
 ③鷲澤幸一(炭平コーポレーション)
 「需要バランスと整合性 ~生コン工場集約化の重要性と工夫~」

12:00~13:00 休憩

13:00~14:10 技術講演

①新たな温度ひび割れ抑制技術と理想的な耐久性埋設型枠の推進
 河野一徳(日本コンクリート技術)

②工事評価方法の現状と評価点アップのための施工計画作成方法
 尾嶋茂久(社会システム創研合同会社)

③ゼネコンにおけるコンクリート技術開発の動向 丸屋剛(大成建設)

14:20~17:00 パネル展示(14:20~15:30 各出展社によるプレゼンテーション
 15:30~17:00 各出展社ブースにて個別説明と質疑応答)

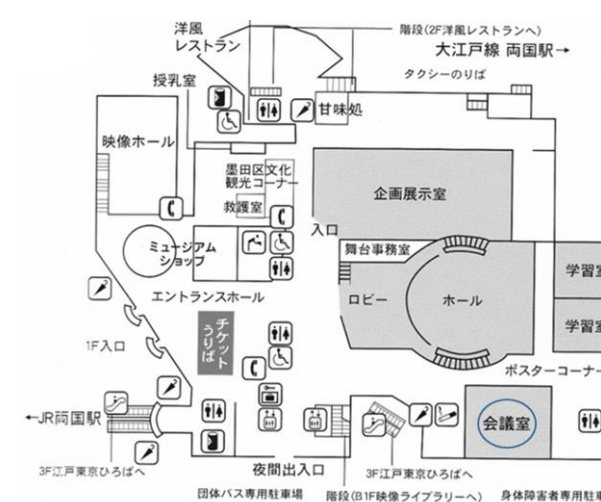
【出展】愛知製鋼、アストン協会、コンクリート養生サービス、
 竹中土木・アンビック、八洋コンサルタント、フローリック、
 前田工織、前田製管(出展内容は、別表をご参照ください。)

17:00~17:10 休憩

《パネル展示 出展内容》

愛知製鋼	ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」 ステンレス鉄筋コンクリートバー「サスコン」はコンクリートの長寿命化、メンテナンス低減に貢献します。
アストン協会	コンクリート改質剤CS-21は、硬化したコンクリートに塗布含浸させて使用し、微細な空隙を充填して表層部を緻密化します。躯体防水、表面保護、ひび割れ補修等に適用。
コンクリート養生サービス	表層コンクリートに“本来の性能”を、コンクリート養生の基本は、適切な期間、給水養生・水分逸散抑制養生で湿潤状態に維持することです。
竹中土木・アンビック	コンフィルテープ工法は軽量で柔軟なテープ状の不織布を用いて、トンネル覆工コンクリートなど上部が閉鎖された空間のコンクリート充填性を向上させる工法です。
八洋コンサルタント	コンクリート構造物評価の高品質化を求めて 耐凍害性・施工性を評価する現場型気泡計測装置のご提案
フローリック	未来をカタチに変える創造力
前田工織	しなやかな繊維がコンクリートを鍛えます。コンクリート表層の物質移動抵抗性が増大、構造体は補修・補強で耐力が向上・・・
前田製管	国土交通大臣認定の大地震対応宅地造成擁壁「MLウォールIV型」、および実績豊富な分割式大型ボックスカルバート「SSボックス」は安全・安心な国土づくりに貢献します。

江戸東京博物館 会場案内図



江戸東京博物館・第一ホテル両国



JR総武線両国駅西口下車徒歩3分
 都営大江戸線両国駅A3・A4出口徒歩1分